

カトリック笹丘教会
教会 ニュース

2013年
12月号
福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

クリスマスの贈り物

主任司祭 遠山満

主のご降誕のお喜び申し上げます。主のご降誕の喜びが、皆様のご家庭に満ち溢れますよう、お祈り致します。

先日、教会にいらした信者でない方が、バザーで売られていた物を見て、「教会の皆さんが創られる物は、皆、綺麗ですね」と仰いました。嬉しいと同時に、何故なのかなと思いました。恐らく、バザーの為に奉仕して下さった皆さんの心がそこに反映されていたからでありましょう。それは、人の様々な思惑からではなく、神様に捧げようと言う気持ちを持って、様々な物を造って下さったからだと思います。

聖書の中に、信仰の恵みを受けた人たちのことが次のように言われています。「この人々は、血によってではなく、肉の欲によってではなく、人の欲によってでもなく、神によって生まれたのである」(ヨハネ 1:13)。神によって生まれた私たちが創り出す物も、神によって創り出されたこの自然界のように、単純で美しい物となれば幸いです。

ところで、今日私たちは、クリスマスの喜びに浸っています。クリスマスは、プレゼントを贈る時です。誰かにプレゼントを贈る時、単純で美しい物を贈ることができたらと思います。私たちの人間的な思いではなく、神様に捧げる思いで、他の人に、特に困っている人たちに贈り物を贈ることができたらと思います。何故なら、父なる神様が私たちに、イエス様という大きな贈り物を贈って下さったからです。私たちは、この恵みを、他の人たちと分かち合っていきたいと思います。

そして、私たちの生活全体を、お生まれになったイエス様への贈り物として行くことができたら幸いです。パウロは言っています。「兄弟たち、神の憐れみによってあなた方に勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして捧げなさい。これこそ、あなた方の為すべき礼拝です」(ローマ 12:1)。





カトリック笹丘教会拡大信者会議事録（12月）

2013年12月15日11時40分から

カトリック笹丘教会 講話室

1 初めの祈り

2 議題

1) これからの行事について

- ①12月22日（日） 待降節黙想会
- ②12月24日（火） 降誕祭夜半のミサ 18:00 20:30
- ③12月25日（水） ご降誕ミサ 10:00
- ④1月1日（水） 元旦のミサ 11:00
- ⑤1月5日（日） 成人祝福のミサ 10:00
- ⑥1月12日（日） 財務委員会 17:00
- ⑦1月19日（日） 新年会 10:00ミサ後

2) 建設二年目点検後の取り組みについて

- ①無償工事については12月7日に実施済
ステンドグラス部分のパッキンのはずれ
聖堂玄関前のブロック部分のくぼみの補修
信者会館のブロックのひずみの補修 ほか

②有償工事について

優先順位を検討の上実施する。

当面 下記工事を予定している。

イ. 道路側掲示板は雨漏り等があるため、現在の掲示板を全面撤去し、新設する。

ロ. 建設当初より予定されていた建物壁面への掲示板の新設
(夜間照明がある場所)

ハ. 信者会館入り口の傘置き場の撤去及び同所へのマリア様の像の設置を兼ねた棚の設置

なお 上記三カ所の工事については見積もりが出されているが、内容について役員会で再検討する。

役員会は12月21日 16時から開催予定

3) その他

*クリスマスミニバザーは盛況のうちに実施できました。益金については建設基金へ寄付します。ご協力ありがとうございました。

*笹丘教会のホームページが再開されました。ご覧になってください。

3 終わりの祈り



召命の集い

2013. 11. 4

天気にも恵まれました。

大神学校の駐車場には沢山の観光バスが停まっており、県外からもたくさん人が訪れていることが伺えました。ちょうど聖堂では、宮原司教様の講話が行われていました。玄関ロビーでは神学生の音楽披露が行われていました。

芝生で覆われた敷地内では子どもたちがダンボールを用いて草スキーを楽しんでいました。

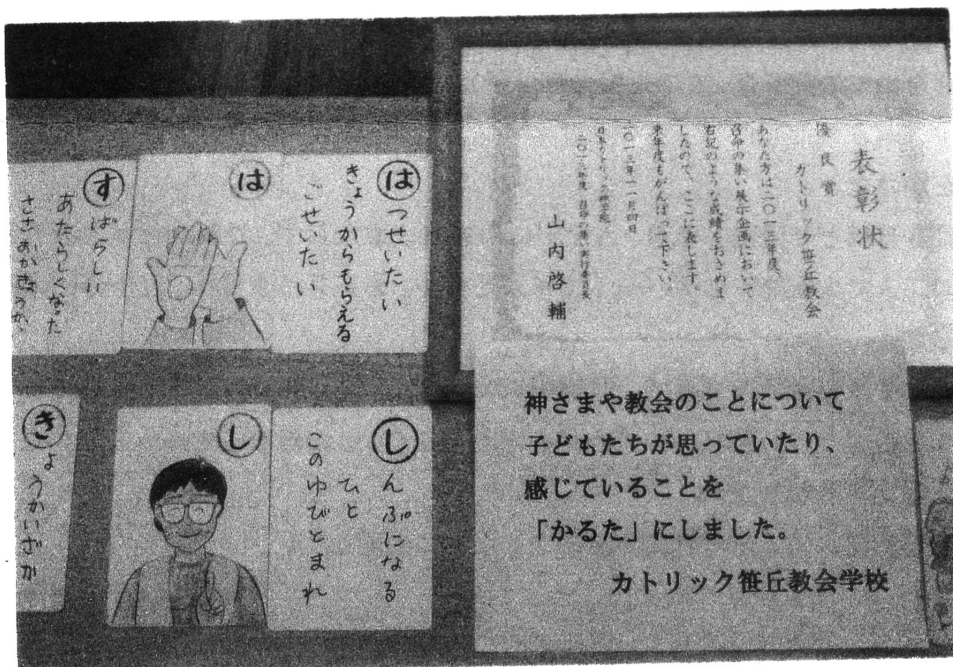
受洗して11年。初めて、召命の集いに足を運びました。

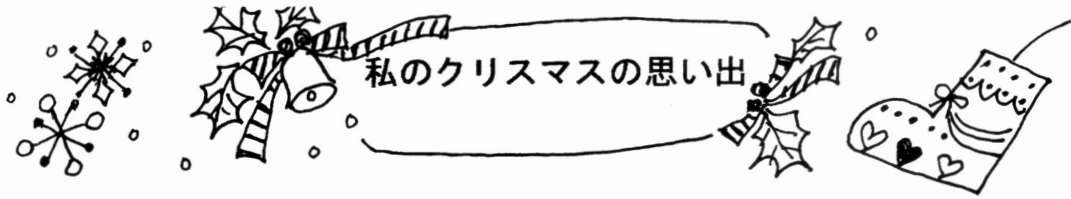


笹丘教会の子どもたちの制作物が優良賞受賞しました！！

(ちなみに最優秀賞は光が丘 優秀賞は鳥栖 院長賞は久留米でした。)

展示企画は**創作かるた**でした。おめでとうございます！！





。 。 20数年前のクリスマス。私は一人大阪にいた。大阪で幼稚園の先生をしていた妹が喉にポリープが出来て（職業病？）冬休みを利用して手術を受けることになったのだ。一入暮らしでは心細かろうと、気ままな独身OLだった私はこれ幸いと年休を多めにとって大阪へと向かった。

手術の日はちょうどクリスマス。妹のアパートから歩いていけるところに玉造教会があった。とても大きな教会で沢山の人で埋め尽くされている。私の前に、小さな女の子をはさんだ若い家族がいた。女の子も小さな手を合わせ祈っている。

突然私は涙があふれ出た。寂しかったのだ。それまで実家暮らしで、クリスマスのは少しおしゃれをして家族揃ってごミサにあずかる。うちに帰ればクリスマスのごちそうとケーキが待っている。それが20数年来の当たり前前の決まりごと・・・それなのに私は今、誰一人見知らぬ町でひとりぼっち。沢山の人に囲まれた孤独を初めて味わったのだ。

それでもごミサの中でふと気づいた。今、平戸の家族もみな教会に行っているだろう。ここにも沢山の人がいる。日本中でいったいどれだけの人がこの時間、イエズス様のご誕生を祝い祈っているのだろう。私はひとりぼっちじゃない！同じ思いを持って共に祈る人が世界中にいるのではないかと。私は感動した。今度は感動で涙が出てきた。目の前の若い家族がこれまでの“知らない”人たちから、私と”共にいる”人たちに変わった瞬間だ。この教会を埋め尽くす沢山の人たちもまた同じだった。

教会を出ての帰り道、この大阪の町が優しくもう何年も住んでいる場所にすら思え、すれ違う人たちに「メリークリスマス」「クリスマスおめでとう！」と心の中で声をかけた。

妹は5日ほどで退院したが、さすがに帰省はままならず、これからが本番！とばかりに二人で大阪梅田のデパートで年末セール、お正月は京都へ、と十分に休みを堪能した。

☆ このクリスマスの出来事は、日頃神様のことなど気づかずに当たり前前の決まり事のように過ごしていた私への戒めだったのだろうか。素敵な、神様からのクリスマスプレゼントとなった。

。 今年も、沢山の人たちと共に祈る幸せな夜に感謝したい。

(前田美由紀)





恩師とのクリスマス

私のクリスマス一番の思い出は、昨年、中学生時代からお世話になっている恩師と共にクリスマスのミサに与れたことだ。

昨年初めてクリスマスミサを二度受けたのだが、二度目の深夜ミサ（西新教会）で恩師の隣でミサに与った。恩師は信者さんではないのだが、復活祭とクリスマスには必ず教会のミサにお出かけになる方で、昨年はご一緒させていただいた。

卒業してからもずっとお世話になった方なのでミサでは、これまでの感謝と共に、たくさんのお恵みが恩師にあるようにと祈った事を今でも覚えている。

あれから一年経った今、お互い多忙になりなかなか会えないが、今年も無事にクリスマスの季節を迎えることが出来た事に感謝したいと思う。

峯 晶子

17歳の時、築地教会で受洗しました。
クリスマスは青年会で全て行っていました。



Uさん

11年前笹丘教会で受洗しました。
皆の祝福がすごく嬉しかったです。



Nさん

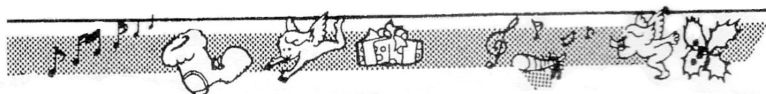


日曜学校2014年1月予定表



	1月12日	1月19日	1月26日
1年生	始業式	初聖体準備	子どもミサ
2・3・4年生	始業式	牧山神学生 による勉強会	子どもミサ
5・6年生	始業式	愛の掟	子どもミサ

編集後記



早いもので今年も街のあちこちでイルミネーションやクリスマス飾りがみられ、休日ともなれば天神や駅周辺、ショッピングセンターは人や車であふれる季節となった。気ぜわしいこんな時期だからこそ、しばし立ち止まってクリスマスの意味を考えたい。

今回は二人の方に素敵なクリスマスの思い出を寄せていただいたが、おそらく誰にでも忘れられないクリスマスの1シーンがあることだろう。

21年前のこと私は二人目の子どもを身ごもっていたが、臨月を迎えたクリスマスに洗礼を受けた。修道院の小さな聖堂で、ヨルダン川から汲まれたという聖水を注いでいただいた瞬間、息子は今までにない程元気にお腹を蹴って「喜びおどった」。これがマリアの訪問を受けたエリザベトの心持ちか、と感極まったものだ。…初心忘るべからず、だ。

クリスマスおめでとうございます！

皆様にとって今年も心に残る一日でありますように。

(S・A)

